

第5章

魅力・元気・文化を誇るまち

511 （仮称）新三ヶ島工業団地協同組合準備会支援事業										産業経済部産業振興課		産業振興課長 石川 純也	
目的	参入事業者等で構成し、地域と共生しながら同地区内の企業における安定した操業と発展に寄与することを目的として協同組合の発足準備を行う(仮称)新三ヶ島工業団地協同組合準備会に対し、運営費等の支援を行うものである。									開始	R7	R6	R7
										予算現額		-	2,500千円
内容	協同組合の発足準備を行う(仮称)新三ヶ島工業団地協同組合準備会に対し、準備組織の運営に関する経費の2分の1(補助限度額2,500千円)を補助する。									決算額(R7見込)		-	2,500千円
										正規職員数		-	0.04人
指標	準備会補助金に関する取組状況を示す指標である。 数値は、準備補助金の交付件数である。令和9年度まで、現状値の維持をめざすものである。						R7現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		-	338千円
							1件	1件	—	その他職員割合		-	0.00人
貢献度	B:やや貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		-	2,838千円
512 企業誘致活動推進事業										産業経済部産業振興課		産業振興課長 石川 純也	
目的	本市の立地環境を活かし、企業立地等奨励金や補助金により製造業や都市型産業等(情報通信業、アニメーション・コンテンツ・ICT関連産業、宿泊施設、社員20人以上の本社等)の立地・拡大の推進及び育成を行い、市内経済の活性化、雇用の創出、税収の増加を図るものである。									開始	H24	R6	R7
										予算現額		205,460千円	66,734千円
内容	①企業立地等奨励金について、製造業、都市型産業の事業者のうち、市内に一定規模以上の事業所を立地・拡大した場合、土地、建物及び償却資産に係る固定資産税及び都市計画税相当額を3年間(特例子会社は5年間)交付する。 ②都市型産業等育成補助金について、市内に新たに事業所を賃借し、製造業又は都市型産業を営む事業者に対し、賃料月額10万円を限度として補助金を交付する(最長24か月)。									決算額(R7見込)		205,310千円	64,196千円
										正規職員数		0.74人	0.66人
指標	都市型産業等育成補助金交付件数都市型産業等の事業所開設支援に関する取組状況を示す指標。 数値は、都市型産業等育成補助金の交付件数。令和10年度までに10件をめざすもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		6,040千円	5,575千円
							4件	1件	10件	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	B:やや貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		211,350千円	69,771千円
513 新規創業等支援事業										産業経済部産業振興課		産業振興課長 石川 純也	
目的	新たな価値を創出して経済成長を牽引する企業を発掘・育成することで、地域経済の新陳代謝を活性化させる。									開始	H12	R6	R7
										予算現額		1,350千円	1,350千円
内容	産業協力強化法に基づく創業支援計画に沿い、商工会議所を中心とした各関係機関と連携して、市内で新たに企業・創業を志す個人や第二創業を目指す事業者を支援するものである。									決算額(R7見込)		1,350千円	1,350千円
										正規職員数		0.22人	0.48人
指標	創業支援事業の支援対象者数起業・創業支援の取組状況を示す指標。 数値は、所沢市創業支援等事業計画に基づき、起業・創業に関する支援を行った人数。令和10年度までに、332人をめざすもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		1,796千円	4,055千円
							284人	326人	332人	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅲ:要改善	決算額+人件費		3,146千円	5,405千円
514 農商工連携推進事業										産業経済部産業振興課		産業振興課長 石川 純也	
目的	農業者、飲食店業者、食品加工業者等の情報交換・ビジネスマッチングの機会として「農商工連携のための勉強会」、「農商工連携のためのさっかけづくり交流会」を開催し、地元農産物などを活用した新たな商品やサービス等の創出を図るもの。									開始	H25	R6	R7
										予算現額		278千円	179千円
内容	農業者、飲食店業者、食品加工業者等の情報交換・ビジネスマッチングの機会として「農商工連携のための勉強会」、「農商工連携のためのさっかけづくり交流会」を開催する。									決算額(R7見込)		99千円	110千円
										正規職員数		0.52人	0.50人
指標	農商工連携による新たな商品やサービス等の創出件数農商工連携推進事業による支援の成果を測る指標。数値は、農商工連携による新たな商品やサービス等を創出した件数。*農商工連携推進事業によって情報交換やビジネスマッチングの機会を提供することで、同業種・異業種の連携を促進し、地域経済の活性化を図る。令和10年度までに7件をめざすもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		4,244千円	4,224千円
							5件	1件	7件	その他職員割合		0.25人	0.25人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅲ:要改善	決算額+人件費		4,343千円	4,334千円
521 地域産業を牽引する事業者等支援事業										産業経済部産業振興課		産業振興課長 石川 純也	
目的	所沢商工会議所中小企業相談所や埼玉県産業振興公社等との連携、国・県等からの専門相談員の派遣等により、地域を牽引する地域産業牽引事業者等を発掘し、これらの事業者による新商品開発や販路開拓等の積極的な取組の実現に向けた支援を行うものである。									開始	H31	R6	R7
										予算現額		20千円	20千円
内容	事業者訪問等を行ったり、地域産業について広く市民に理解を深めてもらうため、工業製品展示を開催する。									決算額(R7見込)		5千円	5千円
										正規職員数		0.36人	0.32人
指標	新規先訪問数 地域産業を牽引する事業者への専門家の派遣、訪問の数						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		2,938千円	2,703千円
							5人	5人	5人	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	B:やや貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		2,943千円	2,708千円

521 地域資源活用・ものづくり総合支援補助事業										産業経済部産業振興課		産業振興課長 石川 純也	
目的	市内の製造事業者や農業者等の経営基盤の強化と地域経済の活性化を図ることを目的とする。									開始	H25	R6	R7
										予算現額		6,000千円	6,000千円
内容	新たな販路開拓や新商品開発に係る共同研究や活性化への取組をはじめ、事業者の設備投資や経営改善等につながる取組を促進するため、その経費の一部を補助する。									決算額(R7見込)		6,000千円	5,967千円
										正規職員数		0.48人	0.45人
指標	地域資源活用・ものづくり総合支援補助金の交付件数 新産業・新分野へ展開する事業者等への支援に関する取組状況を示す指標。 数値は、地域資源活用・ものづくり総合支援補助金の交付件数。毎年度、5件以上をめざすもの。 ※R5実績は少額の補助申請が多く、大きな値となっている。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		3,918千円	3,801千円
							9件	7件	5件	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	A:計画以上	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		9,918千円	9,768千円
521 ふるさと応援寄附推進事業										産業経済部産業振興課		産業振興課長 石川 純也	
目的	市外からのふるさと応援寄附があった際に返礼品を設けることにより、産業振興を推進し全国に向けて市の魅力を発信するとともに、財源の確保を図り、「ふるさと所沢」のまちづくりに資することを目的とする。									開始	R6	R6	R7
										予算現額		45,084千円	135,010千円
内容	市外の寄附者に対して返礼品を贈呈し、本市の魅力を発信するとともに、財源の確保、返礼品を提供する事業者のPRを図る。									決算額(R7見込)		39,021千円	86,559千円
										正規職員数		0.07人	0.12人
指標	寄附のリピート率 累計リピート数÷累計寄附数(令和6年度以降の累計) ふるさと応援寄附を通じて、所沢市の魅力を感じてもらい、関係人口を増やしていくことが目的であるため。						R6現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		571千円	1,014千円
							7.1%	23%	10%	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	A:計画以上	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		39,592千円	87,573千円
522 所沢商工会議所補助金										産業経済部産業振興課		産業振興課長 石川 純也	
目的	所沢商工会議所に対して補助金の交付を行うことにより、地域経済の振興と発展を目的とする。									開始	S25	R6	R7
										予算現額		13,000千円	13,000千円
内容	商工業に関する調査、研究技術技能の普及検定、経営相談・指導、取引紹介、融資あっせん等を単独で実施している所沢商工会議所に対して補助金の交付を行う。									決算額(R7見込)		13,000千円	13,000千円
										正規職員数		0.05人	0.13人
指標	商工会議所一般会計の事業費(千円) 事業計画に基づき事業が実施されているかを示す。 目標は商工会議所一般会計の予算額、実績は決算額。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		408千円	1,098千円
							144,268千円	170,836千円	144,268千円	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	A:計画以上	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		13,408千円	14,098千円
522 中小企業融資事業										産業経済部産業振興課		産業振興課長 石川 純也	
目的	地域経済活性化のため社会経済情勢などの外部環境の変動に受けやすい市内に数多く存在する中小企業などの小規模事業者の経営基盤を強化することを目的とする。									開始	S48	R6	R7
										予算現額		4,000千円	3,500千円
内容	中小企業者等に、市独自の低利率融資を行い、この融資制度の利用者や金融機関、県の設備投資融資の利用者に対し利子補給を行う。 市独自の融資制度は、「中小企業支援資金」「特別小口資金」「災害復興資金」「新規創業支援資金」の4種類である。									決算額(R7見込)		1,852千円	2,968千円
										正規職員数		0.14人	0.43人
指標	融資制度新規利用件数 中小企業等への支援が実施されていることを確認するため、年度内に市の融資制度が実行された件数を設定する。 毎年度5件を目指すものである。						R5現状	R7実績	R10	正規職員数(費)		1,143千円	3,632千円
							3件	13件	5件	その他職員割合		0.15人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	A:計画以上	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		2,995千円	6,600千円
522 経営相談窓口設置委託事業										産業経済部産業振興課		産業振興課長 石川 純也	
目的	専門家(中小企業診断士)による経営相談窓口を設置することで、物価高騰の影響を受ける市内事業者の経営基盤の強化及び経営の安定化を図る。									開始	R7	R6	R7
										予算現額		-	1,109千円
内容	物価高騰の影響を受け中小企業者の抱える様々な課題に対して、必要な相談員を配置し、経営相談及び附随する業務を行う。									決算額(R7見込)		-	1,089千円
										正規職員数		-	0.07人
指標	全30枠の経営相談者数						R7現状	R7実績	R7目標	正規職員数(費)		-	591千円
							30人	30人	30人	その他職員割合		-	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	V:事業終了	決算額+人件費		-	1,680千円

523 環境にやさしい農業推進事業										産業経済部農業振興課			農業振興課長 前田 亘一	
目的	地球環境への負荷を軽減するとともに、地域住民との共存を図り、安心で安全な農産物の生産を増やしていく。									開始	H14	R6	R7	
										予算現額		5,162千円	4,000千円	
内容	環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業活動(生分解性マルチフィルム、緑肥、フェロモン剤の利用)に対して、事業費の1/2以内を限度として補助をする。									決算額(R7見込)		3,468千円	3,926千円	
										正規職員数		0.31人	0.33人	
指標	事業参加農家数 環境への負荷の少ない農業資材の利用を増やすことを当該事業の目的としているため、事業の参加農家数を指標とする。 目標値としては、前年度の実績を基本とし、維持・向上を目指す数値を設定する。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		2,530千円	2,788千円		
						264戸	247人	270人	その他職員割合		0.00人	0.00人		
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費	5,998千円	6,714千円	
523 環境保全型農業直接支払交付金交付事業										産業経済部農業振興課			農業振興課長 前田 亘一	
目的	国、県、市一体で、土づくり等を通じた化学肥料・農業等による環境負荷の軽減、農業が有する環境保全機能の向上が図られるような農業者の取組等に対し支援を行う。農業者が行う地球温暖化防止、生物多様性保全等に資する取組が対象となる。									開始	H24	R6	R7	
										予算現額		1,802千円	2,229千円	
内容	化学肥料・化学合成農業を使用しない取組である有機農業、または、化学肥料・化学合成農業を都道府県の慣行レベルから原則5割以上低減する取組とあわせて、次のいずれかの取組ひとつを選択して実施した場合に支援を行う。 ①緑肥(カバークロップ、リビングマルチ、草生栽培)、②炭素貯留効果の高い堆肥の水質保全に資する施用、③地域特認取組 等									決算額(R7見込)		1,682千円	1,887千円	
										正規職員数		0.41人	0.47人	
指標	環境保全型農業に取り組んだ面積 化学肥料・農業等の影響による環境負荷を低減するために、環境保全型農業に取り組んだ面積を指標とする。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		3,346千円	3,970千円		
						1,315a	1,346a	1,700a	その他職員割合		0.00人	0.00人		
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費	5,028千円	5,857千円	
523 新規就農総合支援事業										産業経済部農業振興課			農業振興課長 前田 亘一	
目的	次世代を担う農業者となることを志向する者に対し、就農意欲の喚起及び就農の定着を図るため、予算の範囲内で補助金を交付し、支援する。									開始	H24	R6	R7	
										予算現額		23,250千円	24,750千円	
内容	【経営開始資金事業】就農時に原則50歳未満で、地域計画の目標地図に位置付けられている認定新規就農者に対して、年間150万円を3年間支給 【経営発展支援事業】上記認定新規就農者に対して、機械・施設の導入費の4分の3の費用を補助(上限375万円)									決算額(R7見込)		19,326千円	8,250千円	
										正規職員数		0.69人	0.76人	
指標	農業従事者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加という諸課題を解決するため、新たな担い手として独立自営就農を行う新規就農者及び新規就農を前提とするいるま地域明日の農業担い手育成塾生の人数を指標とする。					R5現状	R7実績	R10	正規職員数(費)		5,632千円	6,420千円		
						7人	5人	現状値以上	その他職員割合		0人	0人		
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費	24,958千円	14,670千円	
523 農地所有適格法人等支援事業										産業経済部農業振興課			農業振興課長 前田 亘一	
目的	遊休農地や不耕作農地の解消、地域農業の活性化のため、農業経営の規模拡大を目指す新たな農業の担い手となる農地所有適格法人等が、賃貸借により耕作面積を拡大した際に、農地の賃借料の一部を補助し、支援する。									開始	H27	R6	R7	
										予算現額		205千円	205千円	
内容	新規参入してから3年目以内の農地所有適格法人が、所沢市内で賃借した土地1平方メートルにつき、賃借を開始する時点において所沢市農業委員会が提供する農地賃借料情報に基づく10アール当たりの平均額に1000分の1を乗じて得た額を補助(上限額:実際の賃料(遊休農地以外の農地の場合は実際の賃料の半額))									決算額(R7見込)		174千円	17千円	
										正規職員数		0.11人	0.09人	
指標	農地所有適格法人等規模拡大面積新規に参入してから3年目までの農地所有適格法人等が、該当する年度中に新規に借り受ける農地面積(賃貸借+使用賃借で、更新面積は含めない)を指標とする。(補助対象外の法人も含む)					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		898千円	760千円		
						15,948㎡	15,701㎡	15,948㎡	その他職員割合		0.00人	0.00人		
貢献度	B:やや貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅲ:要改善		決算額+人件費	1,072千円	777千円	
523 新規就農円滑化推進事業										産業経済部農業振興課			農業振興課長 前田 亘一	
目的	農業従事者の高齢化や後継者が不足する中で、農業の担い手となる新規就農者に対し、農業経営の早期安定化のため、農業用機械の導入費用の一部や借り受ける農地の賃借料の一部を補助し、支援する。									開始	H27	R6	R7	
										予算現額		1,600千円	1,525千円	
内容	【農地の賃借】就農してから3年目以内の新規就農者が、所沢市内で賃借した土地1平方メートルにつき、賃借を開始する時点において所沢市農業委員会が提供する農地賃借料情報に基づく10アール当たりの平均額に1000分の1を乗じて得た額を補助(上限額:実際の賃料(遊休農地以外の農地の場合は実際の賃料の半額)) 【農業機械の導入】上記新規就農者が、農業機械を導入する際の経費の2分の1を補助(上限25万円) ※過去に同補助金を活用した者は対象外									決算額(R7見込)		932千円	636千円	
										正規職員数		0.11人	0.12人	
指標	新規就農者の規模拡大面積 新規に就農してから3年目までの新規就農者が、該当する年度中に新規に借り受ける予定の農地面積(賃貸借+使用賃借で、更新面積は含めない)を指標とする。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		898千円	1,014千円		
						26,087㎡	7,545㎡	26,087㎡	その他職員割合		0.00人	0.00人		
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費	1,830千円	1,650千円	

523 認定農業者等経営改善推進事業										産業経済部農業振興課			農業振興課長 前田 亘一	
目的	認定農業者の農業経営の改善を促すため。									開始	H20	R6	R7	
										予算現額		21,150千円	21,150千円	
内容	認定農業者の経営改善に資する機械や施設整備に対して補助事業を実施する。 ①気象条等に左右されずに農産物の生産に寄与する施設②農作業の省力化、効率化が図れる機械や施設③環境にやさしい資源循環型農業に資する機械や施設④災害、盗難等の影響による施設の修繕に対して、予算の範囲内において1事業主体あたり総事業費の1／2以内で施設整備は180万円、機械整備は135万円、施設修繕は50万円を限度として補助する。									決算額(R7見込)		20,904千円	20,524千円	
										正規職員数		0.37人	0.34人	
指標	機械・施設導入等によって経営が改善した経営体数 導入2年後の調査で、所得向上や労働時間短縮、安定生産など経営が改善したと回答した経営体の数を指標とする。 目標値は、2年前の補助数(施設修繕除く)とする。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	3,020千円	2,872千円			
						21件	22件	2年前の補助数	その他職員割合	0.00人	0.02人			
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	A:計画以上	方向性	I:事業規模拡大	決算額+人件費	23,924千円	23,396千円		
523 土から育む有機の産地づくり事業										産業経済部農業振興課			農業振興課長 前田 亘一	
目的	土づくり等を通じて環境負荷低減を図るとともに、有機農業の取組拡大も進めることで、都市近郊の利点を活かし、地域全体で農の多様性や多彩な魅力を感じられる産地づくりを目指す。									開始	R6	R6	R7	
										予算現額		6,037千円	7,993千円	
内容	環境と調和の取れた持続的な農業を推進し、「農の多様性」や「多彩な魅力」を感じられる産地づくりに向けて、生産、加工・流通、消費の3つの分野において取組を行う。 ①生産:有機農業試行取組支援、栽培技術等講習会、地域資源を活かした堆肥等の活用等、②加工品の活用、共同出荷試行、③・消費:学校給食等への農産物の提供、消費者PR									決算額(R7見込)		6,001千円	7,554千円	
										正規職員数		0.95人	0.83人	
指標	土から育む有機の産地づくり計画(有機農業実施計画)に掲げた目標値の進捗確認を行う。(計画対象期間:令和7年度～令和11年度) ・国際水準の有機農業 取組者数…① ・国際水準の有機農業 取組面積…②					R6現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	7,754千円	7,011千円			
						-	①9名②13.20ha	①11名②16ha	その他職員割合	0.00人	0.00人			
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	II:継続	決算額+人件費	13,755千円	14,565千円		
523 家畜防疫対策事業費補助事業										産業経済部農業振興課			農業振興課長 前田 亘一	
目的	家畜伝染病の発生防止、及び臭気及び害虫等による周辺地域での環境問題の発生防止を図る。									開始	S62	R6	R7	
										予算現額		900千円	900千円	
内容	事業主体の申請に基づき、家畜伝染病の予防接種並びに検査の実施、及び環境汚染問題を回避するために、必要な薬剤等の購入経費の一部を補助する。									決算額(R7見込)		834千円	803千円	
										正規職員数		0.19人	0.11人	
指標	予防接種の実施頭数の合計 家畜(牛・豚)飼育頭数と事業主体からの申請を基に、申請予想頭数を目標値とし、実施頭数を指標とする。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	1,551千円	929千円			
						1,330頭	1221頭	1,330頭	その他職員割合	0.00人	0.00人			
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	II:継続	決算額+人件費	2,385千円	1,732千円		
523 病虫害防除対策事業										産業経済部農業振興課			農業振興課長 前田 亘一	
目的	安定した農業生産と農産物の品質の向上を確保する。									開始	S63	R6	R7	
										予算現額		1,620千円	1,620千円	
内容	病虫害を防除するための薬剤の購入に要する経費の30%を限度として、予算の範囲内で補助する。									決算額(R7見込)		1,620千円	1,620千円	
										正規職員数		0.09人	0.08人	
指標	薬剤購入費の補助を受けた農家戸数 病虫害防除のための薬剤を購入した農業者への支援であるため、薬剤補助を受けた農家戸数を指標とする。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	735千円	676千円			
						443戸	192戸	443戸	その他職員割合	0.00人	0.00人			
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	II:継続	決算額+人件費	2,355千円	2,296千円		
523 認定農業者育成事業										産業経済部農業振興課			農業振興課長 前田 亘一	
目的	認定農業者※が経営改善計画を実現するための方策に対して支援を行う。 ※認定農業者制度の「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」に示された農業経営の目標の達成に向けた「経営改善計画」の認定を受けた農業者									開始	H8	R6	R7	
										予算現額		103千円	87千円	
内容	農業経営の改善につながるテーマを設定し、認定農業者等講演会を開催する。									決算額(R7見込)		69千円	29千円	
										正規職員数		0.24人	0.21人	
指標	認定農業者等講演会における認定農業者の参加人数 認定農業者の経営改善に向けた意欲向上を目的とした講演会であるため、講演会に参加した認定農業者等の参加人数を指標とする。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	1,959千円	1,774千円			
						22人	41人	22人	その他職員割合	0.00人	0.00人			
貢献度	B:やや貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	A:計画以上	方向性	III:要改善	決算額+人件費	2,028千円	1,803千円		

523 農業後継者育成確保推進事業										産業経済部農業振興課			農業振興課長 前田 亘一	
目的	近年、若年労働者の離農、農業者の減少が進行し、農業後継者の育成確保が重要な課題となっているため、次代を担う優れた農業後継者及び担い手を確保する。									開始	S58	R6	R7	
										予算現額		530千円	500千円	
内容	所沢市農業後継者対策連絡会の事業の一環として、市内農家へのボランティアによる援農活動を中心とした農業サポーター制度、農産物収穫体験、農業後継者に対する結婚活動イベントなどを実施する。									決算額(R7見込)	530千円	501千円		
										正規職員数	0.11人	0.13人		
指標	研修会、交流会、イベントへの参加人数 生産者同士だけでなく、市民などの消費者との交流をする機会を増やすことで、生産者や農産物と触れ合い、農業に対する理解と関心を深めてもらうことができるため、交流会等の参加者数を指標とする。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	898千円	1,098千円		
							27名	22人	27名	その他職員割合	0.00人	0.03人		
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	1,428千円	1,599千円		
523 大学との交流による都市農業振興事業										産業経済部農業振興課			農業振興課長 前田 亘一	
目的	国立大学法人東京農工大学の持つ知的資源を活用して農業振興を図る。									開始	H25	R6	R7	
										予算現額		261千円	262千円	
内容	所沢市の農業資源・環境を農工大の教育研究のフィールドとして活用、市民向け家庭菜園教室の開催等。									決算額(R7見込)	194千円	181千円		
										正規職員数	0.21人	0.17人		
指標	連携・取組みの実施回数 今後も連携を継続していくため、官学連携協定に基づき実施している研修やイベントの取組回数を指標とする。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	1,714千円	1,436千円		
							14回	14回	14回	その他職員割合	0.00人	0.00人		
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	1,908千円	1,617千円		
523 認定農業者応援事業										産業経済部農業振興課			農業振興課長 前田 亘一	
目的	肥料、飼料のほか農産物の生産に必要な燃料費の価格高騰により大きな影響を受けている認定農業者の経営負担の軽減を図るため。									開始	R7	R6	R7	
										予算現額		0千円	51,038千円	
内容	肥料費、飼料費及び動力光熱費の合計額の3/10を補助。上限額は40万円。									決算額(R7見込)	0千円	34,222千円		
										正規職員数	0.00人	0.15人		
指標	認定農業者が負担した経費を補助するという内容が、認定農業者の経営負担軽減につながる事業として有意義なものになっているかという観点から、補助対象者の数に対する申請件数のパーセンテージを指標とする。						R7現状	R7実績	R7目標	正規職員数(費)	0千円	1,267千円		
							-	73%	100%	その他職員割合	0.00人	0.00人		
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	C:計画通りでない	方向性	V:事業終了	決算額+人件費	0千円	35,489千円		
523 「農委だより」発行事業										農業委員会事務局			農業委員会事務局次長 細田 和彦	
目的	農業委員会の活動業務や農業全般についての情報を広く農地所有者及び耕作者に周知するもの。									開始	S53	R6	R7	
										予算現額		537千円	633千円	
内容	・営農面積が10アール以上の農地所有者及び耕作者に対し、A4版4ページ構成の情報紙を年2回発行する ・農業委員会の活動や農業者に提供すべき情報を掲載 ・市ホームページに掲載するとともに市内JAいるま野各支店やまちづくりセンターに配架する									決算額(R7見込)	505千円	578千円		
										正規職員数	0.22人	0.20人		
指標	配布率(%) (配布戸数÷対象農家戸数) 市内農業者への情報提供が目的であることから配布率を指標とし、農地所有者及び耕作者への配布を目標とする。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	1,796千円	1,689千円		
							100%	100%	100%	その他職員割合	0.00人	0.00人		
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	2,301千円	2,267千円		
523 農地利用状況調査・遊休農地指導事業										農業委員会事務局			農業委員会事務局次長 細田 和彦	
目的	市内農地の利用状況を調査し、把握した遊休農地の是正指導を行うもの。									開始	H11	R6	R7	
										予算現額		131千円	166千円	
内容	・夏季に農地の利用状況調査を実施 ・遊休化または遊休化するおそれがあると判断した農地の所有者等に対して、除草や耕作再開等の是正指導を行う ・遊休農地の発生を防止するため、所沢市農地サポート事業による農地の売買や貸借を促進し、新たな担い手への流動化を図る									決算額(R7見込)	148千円	163千円		
										正規職員数	0.67人	0.66人		
指標	是正率(%) (是正面積÷遊休農地調査面積) 遊休農地の是正が目的であることから、是正率を指標とする。80%の是正率を目標とする。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	5,469千円	5,575千円		
							82.7%	74.0%	80.0%	その他職員割合	0.00人	0.00人		
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅲ:要改善	決算額+人件費	5,617千円	5,738千円		

523 所沢市農地サポート事業										農業委員会事務局		農業委員会事務局次長 細田 和彦	
目的	年々進む高齢化や後継者不足等により、農業従事者が減少していくなか、遊休化または遊休化するおそれのある農地の農業上の利用を確保するため、農業経営規模の縮小意向の農業者と拡大意向の農業者を取り次ぐことにより、農地の有効活用と流動化を図る。									開始	H22	R6	R7
										予算現額		0千円	0千円
内容	・農業経営規模の縮小意向の農業者から売買や貸借を希望する農地情報を把握し、拡大意向の農業者に情報提供を実施する。									決算額(R7見込)		0千円	0千円
										正規職員数		0.15人	0.20人
指標	利用集積農地面積(㎡) 農地の利用集積が目的であることから、利用集積された農地面積を指標とする 農地の売り渡し・貸し付け希望に対して、買い受け・借り受け希望が少ないことを考慮した目標値とする						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		1,224千円	1,689千円
							66,846㎡	49,774㎡	20,000㎡	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	A:計画以上	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		1,224千円	1,689千円
531 「所沢市観光情報・物産館」活用事業(COOLJAPANFOREST構想事業)										産業経済部商業観光課		商業観光課長 松本 圭四郎	
目的	令和3年5月29日に開館した所沢市観光情報・物産館を、本市の観光資源や特産物等の魅力発信拠点として運営し、効果的に活用する。									開始	H29	R6	R7
										予算現額		101,326千円	99,210千円
内容	指定管理者である「ところざわタウンベースパートナーズ」とともに、適正かつ円滑に所沢市観光情報・物産館の管理運営及び活用を行った。									決算額(R7見込)		97,561千円	96,934千円
										正規職員数		0.97人	1.13人
指標	所沢市観光情報・物産館への来場者数所沢市観光情報・物産館のにぎわい度を示す指標。 数値は、所沢市観光情報・物産館の来場者数。毎年、105%の増加をめざすもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		7,917千円	9,545千円
							17万人	23万人	22万人	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	A:計画以上	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		105,478千円	106,479千円
531 市営駐車場管理事業										産業経済部商業観光課		商業観光課長 松本 圭四郎	
目的	市営駐車場を管理し、地元商店街への買い物客の利便性を高め、商店街振興を図る。									開始	S44	R6	R7
										予算現額		59,239千円	62,139千円
内容	寿町駐車場及び元町地下駐車場を対象とし、地元商店街への買い物客の利便性を高め、商店街振興に繋がるよう駐車場管理を行う。									決算額(R7見込)		55,806千円	61,471千円
										正規職員数		0.77人	0.84人
指標	寿町駐車場及び元町地下駐車場の適切な管理の実施状況 商店街利用者の利便性を高め、商店街振興に繋げるためには、当該駐車場が適切に管理されていることが必要であることから、管理の実施状況を指標とした。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		6,285千円	7,095千円
							実施	実施	継続	その他職員割合		0.15人	0.15人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		62,091千円	68,566千円
531 中心市街地商業活性化事業(野老澤町造商店負担金)										産業経済部商業観光課		商業観光課長 松本 圭四郎	
目的	商業の振興や来街者の増加を図り、中心市街地の活性化を目指す。									開始	H16	R6	R7
										予算現額		6,250千円	6,250千円
内容	当該施設は、市民の交流の場・情報発信の拠点として各種展示のほか、中心市街地でのイベントの開催も行っており、施設の賃借料、光熱費等の運営に係る事業費の負担金を拠出している。									決算額(R7見込)		6,250千円	6,250千円
										正規職員数		0.28人	0.57人
指標	来店者数及びイベント参加者数 中心市街地の活性化が目的であるため、その拠点施設である野老澤町造商店の来店者数及びイベント参加者数を指標とした。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		2,285千円	4,815千円
							36,034人	40,363人	47,000人	その他職員割合		0.05人	0.02人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		8,535千円	11,065千円
531 ところざわまつり支援事業										産業経済部商業観光課		商業観光課長 松本 圭四郎	
目的	ところざわまつりを支援することで、所沢の歴史と文化を後世に伝えていくとともに、人と人のつながりを大切にするコミュニティの推進や、商店街の活性化をはじめ経済効果を生むことを目的とする。									開始	S63	R6	R7
										予算現額		4,000千円	9,000千円
内容	ところざわまつり実行委員会に対し、開催費用を所沢商工会議所と分担して負担するとともに、山車運営委員会及びイベント運営委員会の事務局を担当している。									決算額(R7見込)		4,000千円	9,000千円
										正規職員数		1.03人	1.46人
指標	来場者数 所沢市の歴史と文化を後世に伝えることや、多くの方に参加していただくことにより経済効果を生むことなどが目的であるため、来場者数を指標とした。 ※令和7年度は、5年に1度の大祭の年であったため、2日開催での実績値						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		8,407千円	12,333千円
							200,000人	260,000人	220,000人	その他職員割合		0.25人	0.30人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		12,407千円	21,333千円

531 所沢商店街連合会補助金										産業経済部商業観光課		商業観光課長 松本 圭四郎	
目的	市内の商店街等で構成される商店街連合会を支援することにより、本市の商業振興を図るものである。									開始	S59	R6	R7
										予算現額		210千円	210千円
内容	市内の多くの商店街が加入し、商店街の振興にとって重要な組織である商店街連合会に対し補助金を交付する。									決算額(R7見込)		210千円	210千円
										正規職員数		0.08人	0.15人
指標	商店街連合会加盟商店街の会員数 市内の商店街等で構成される商店街連合会を支援することを目的としていることから、商店街連合会加盟商店街の会員数としている。目標値は前年実績。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		653千円	1,267千円
							1,212事業者	1,164事業者	1,212事業者	その他職員割合		0.01人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		863千円	1,477千円
531 魅力ある商店街創出支援事業										産業経済部商業観光課		商業観光課長 松本 圭四郎	
目的	地域の特性を生かした魅力ある商店街づくりを推進することにより、商店街の振興と活性化を図る。									開始	S57	R6	R7
										予算現額		32,540千円	30,000千円
内容	商店街が実施する施設整備や共同事業、街路灯等の電気料について補助金を交付する。 ・共同施設整備事業 補助率:1/3以内 ・共同事業 補助率:事業内容により1/2、2/5、1/3以内 ・街路灯電気料 補助率:1/2(千円未満切り捨て)									決算額(R7見込)		25,568千円	27,121千円
										正規職員数		0.54人	1.18人
指標	商店街加盟店舗数 商店街が事業を行った結果、エリアが活性化することを見込んでいる。全国的に商店街の衰退が懸念される中、市内の商店街加盟店舗数が概ね維持され、商業が持続して発展することを目指す。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		4,407千円	9,967千円
							1,318店舗	1,262店舗	現状維持	その他職員割合		0.30人	0.30人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		29,975千円	37,088千円
531 空き店舗活用・新規創業支援出店補助事業										産業経済部商業観光課		商業観光課長 松本 圭四郎	
目的	商店街の空洞化を防ぎ、市内における商店街の活性化を目的する。									開始	H24	R6	R7
										予算現額		2,400千円	2,400千円
内容	商業や商店街等の活性化を図るため、市内商店街の空き店舗を活用し、地域のにぎわいに貢献するような事業において、事業開始に必要な初期経費を補助する。 補助金額 経費の1/3以内(限度額120万円)									決算額(R7見込)		2,207千円	2,400千円
										正規職員数		0.39人	0.50人
指標	商店街加盟店舗数 空き店舗解消というアプローチで商店街の活性化を図る。全国的に商店街の衰退が懸念される中、市内の商店街加盟店舗数が概ね維持され、商業が持続して発展することを目指す。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		3,183千円	4,224千円
							1,318店舗	1,262店舗	現状維持	その他職員割合		0.01人	0.01人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		5,390千円	6,624千円
531 観光拠点の整備・充実事業										産業経済部商業観光課		商業観光課長 松本 圭四郎	
目的	市内の観光スポットの魅力を維持し、より発展させると共に、観光客の利便性を高めることを目的としている。									開始	H7	R6	R7
										予算現額		8,866千円	9,060千円
内容	・航空記念公園展示用輸送機維持管理 ・東川桜ライトアップ 等									決算額(R7見込)		8,440千円	7,606千円
										正規職員数		0.34人	0.45人
指標	観光入込客数 平成30年度から目標値を見直した。令和4年度(745万人)を基準とし、毎年30万人増加を目指す。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		2,775千円	3,801千円
							8,240,677人	集計中	9,250,000人	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	B:やや貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		11,215千円	11,407千円
531 狭山丘陵の魅力の発掘・向上事業										産業経済部商業観光課		商業観光課長 松本 圭四郎	
目的	武蔵村山市、東村山市、東大和市、所沢市、入間市、瑞穂町、狭山丘陵パートナーズ等の5市1町等で共同して狭山丘陵全体の魅力発信のための事業を行う。									開始	H30	R6	R7
										予算現額		60千円	60千円
内容	5月に開催される「さやまKIDSDAY」に出展し、本市の観光PRを行う。									決算額(R7見込)		0千円	0千円
										正規職員数		0.23人	0.20人
指標	狭山丘陵関連プロモーション数 武蔵村山市、東村山市、東大和市、所沢市、入間市、瑞穂町、狭山丘陵パートナーズ等の5市1町等で共同した狭山丘陵全体の魅力発信のための事業への参加や情報発信等の数とした。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		1,877千円	1,689千円
							1回	1回	1回	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	B:やや貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		1,877千円	1,689千円

531 にぎわいトコロ創出支援事業								産業経済部商業観光課				商業観光課長 松本 圭四郎	
目的	地域の特性を生かした、人を中心とするにぎわいのある拠点の創出・活性化を図る。								開始	R5	R6	R7	
									予算現額		2,000千円	2,000千円	
内容	人と人、人と物が巡りあうことのできる催し、その他のにぎわい拠点づくりに向けた事業費の一部を補助するものである。								決算額(R7見込)		1,694千円	1,684千円	
									正規職員数		0.27人	0.30人	
指標	本補助金活用数							R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	2,204千円	2,534千円
								8件	10件	10件	その他職員割合	0.00人	0.00人
貢献度	B:やや貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	3,898千円	4,218千円	
531 所沢市寿町駐車場整備事業								産業経済部商業観光課				商業観光課長 松本 圭四郎	
目的	当該駐車場の東川護岸等の老朽化が著しいため、整備を実施する。								開始	R5	R6	R7	
									予算現額		11,100千円	30,886千円	
内容	当該駐車場の東川護岸整備等を下記の工程で実施する。 令和5年度:設計、令和6年度:着工、令和7年5月:竣工								決算額(R7見込)		11,100千円	30,878千円	
									正規職員数		0.28人	0.20人	
指標	工事の実施状況 当該駐車場及び周辺の安全確保のため、適切に整備を行う必要があることから、工事の実施状況を指標とした。							R5現状	R7実績	R7目標	正規職員数(費)	2,285千円	1,689千円
								設計	竣工	竣工	その他職員割合	0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	V:事業終了	決算額+人件費	13,385千円	32,567千円	
531 所沢市元町地下駐車場主要機器入替事業								産業経済部商業観光課				商業観光課長 松本 圭四郎	
目的	当該駐車場に設置している主要機器が老朽化しているに伴い、機器の入替を行って駐車場の適正管理を図るとともに、新紙幣・新硬貨及びキャッシュレス決済に対応した最新機器を設置することで、利用者の利便性向上を図る。								開始	R7	R6	R7	
									予算現額		0千円	24,167千円	
内容	当該駐車場に設置している主要機器の老朽化に伴い、新紙幣・新硬貨及びキャッシュレス決済に対応した最新機器を設置する。								決算額(R7見込)		0千円	22,990千円	
									正規職員数		0.00人	0.41人	
指標	主要機器の設置状況 当該駐車場の適正管理及び利用者の利便性向上に繋げるため、主要機器の設置状況を指標とした。							R7現状	R7実績	R7目標	正規職員数(費)	0千円	3,463千円
								-	竣工	設置	その他職員割合	0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	V:事業終了	決算額+人件費	0千円	26,453千円	
531 観光案内作成事業								産業経済部商業観光課				商業観光課長 松本 圭四郎	
目的	本市の観光スポットや、まちのにぎわいと美しく豊かなみどりを結ぶ「まち」×「みどり」のおさんぽコースをPRするコンテンツを作成することで、効果的な観光客誘致を図る。								開始	R5	R6	R7	
									予算現額		0千円	5,000千円	
内容	「まち」×「みどり」のおさんぽコースの道標や、観光リーフレットやポスター等の観光ガイドコンテンツを作成する。								決算額(R7見込)		0千円	4,972千円	
									正規職員数		0.00人	0.82人	
指標	観光入込客数 平成30年度から目標値を見直した。令和4年度(745万人)を基準とし、毎年30万人増加を目指す。							R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	0千円	6,927千円
								8,240,677人	8,141,030人	9,250,000人	その他職員割合	0.00人	0.05人
貢献度	B:やや貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	0千円	11,899千円	
532 観光客回遊性創出事業								産業経済部商業観光課				商業観光課長 松本 圭四郎	
目的	本市を訪れる観光客の市内及び近隣自治体への回遊性を高めるため、市内の様々な魅力あるスポットをつなぐ方策について検討し、広域連携の取組みを活かして回遊性の向上を図る。								開始	R2	R6	R7	
									予算現額		0千円	0千円	
内容	①シェアサイクルの導入 ②広域連携による回遊性向上に向けた事業の検討 ・埼玉県西部地域まちづくり協議会(ダイアプラン)観光部会 ・西武線沿線サミット ・狭山丘陵観光連携事業推進実行委員会								決算額(R7見込)		0千円	0千円	
									正規職員数		0.48人	0.20人	
指標	シェアサイクルの利用回数 シェアサイクルの利用による市内の回遊性向上への効果を測る指標。 数値は、シェアサイクルの利用回数。令和10年度までに6万人の増加をめざすもの。							R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	3,918千円	1,689千円
								70,747人	148,578人	130,747人	その他職員割合	0.25人	0.30人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	A:計画以上	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	3,918千円	1,689千円	

533 所沢ブランド特産品推進事業								産業経済部産業振興課			産業振興課長 石川 純也		
目的	平成29年度より実施している本事業は、「ところざわサクラタウン」の完成や東京オリンピック・パラリンピック開催等の好機を見据え、所沢を象徴する物産を訪日外国人客を含めた市内外に販売できるよう、地場農産物等を活かした特産品の創出を支援することを目的とする							開始	H29	R6	R7		
								予算現額		2,910千円	2,672千円		
内容	地場農産物等を活かした商品の特産品認定し、認定した特産品の販路支援を行う。							決算額(R7見込)		2,035千円	1,751千円		
								正規職員数		0.65人	0.74人		
指標	所沢ブランド特産品のPR回数所沢ブランドの確立と地域経済の活性化を測る指標。 数値は、所沢ブランド特産品のPR(所沢ブランドのイベント出展、広報ところざわやSNSによる情報発信等)を実施した回数。毎年度、70回以上をめざすもの。							R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	5,305千円	6,251千円
								80回	73回	70回	その他職員割合	0.45人	0.45人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	7,340千円	8,002千円	
533 ヘルスツーリズム産業創出支援事業								産業経済部商業観光課			商業観光課長 松本 圭四郎		
目的	クアオルト健康ウォーキングを活用した観光振興を実施するに当たり、関係団体と構成する「埼玉県・所沢市ヘルスツーリズム協議会」の運営が、円滑かつ効果的になされるよう支援を行う。							開始	H31	R6	R7		
								予算現額		500千円	0千円		
内容	個人向けツアーの実施 法人向けツアーの実施 協議会の開催							決算額(R7見込)		500千円	0千円		
								正規職員数		0.56人	0.19人		
指標	参加人数 個人ツアー/法人ツアー							R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	4,571千円	1,605千円
								個人138人/法人17人	個人64人/法人25人	個人64人/法人25人	その他職員割合	0.25人	0.15人
貢献度	B:やや貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	5,071千円	1,605千円	
533 ブランド価値の向上事業								産業経済部商業観光課			商業観光課長 松本 圭四郎		
目的	プロスポーツをはじめとする観光資源を積極的に取り上げ、本市ならではのブランド価値を高めることで、所沢市への愛着度を醸成する。							開始	H17	R6	R7		
								予算現額		0千円	0千円		
内容	平成27年3月に締結した「所沢市と株式会社西武ライオンズとの連携協定に関する基本協定」(フレンドリーシティ)を基に、ライオンズ×所沢市の様々な連携事業を展開するもの。 ・レオ・ライナとあそぼう！ ・ベースボール型スポーツイベント(親子向け野球体験イベント) ・ホームゲーム観戦招待の実施 …等							決算額(R7見込)		0千円	0千円		
								正規職員数		0.45人	0.37人		
指標	市民意識調査の「所沢市への愛着度」の数値							R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	3,673千円	3,125千円
								86.5%	87.5%	90%	その他職員割合	0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	3,673千円	3,125千円	
533 2025年大阪・関西万博お茶が織りなす日本文化展事業								産業経済部農業振興課			農業振興課長 前田 亘一		
目的	所沢市が誇る名産品である狭山茶の普及促進を目的とする。							開始	R6	R6	R7		
								予算現額		2,400千円	4,724千円		
内容	所沢市が誇る名産品である狭山茶の普及促進を目的として、2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)における万博首長連合自治体参加催事枠に連携自治体(入間市、狭山市、生駒市、鈴鹿市)とともに出展する。							決算額(R7見込)		2,400千円	3,819千円		
								正規職員数		0.44人	0.45人		
指標	万博出展に関連してPRしたイベントの開催日数 当該事業の目的は所沢市が誇る名産品である狭山茶の普及促進であることから、イベントの開催前後も含め、そのことを利用したPRの接触回数を指標とする。							R6現状	R7実績	R7目標	正規職員数(費)	3,591千円	3,801千円
								-	20回	10回	その他職員割合	0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	V:事業終了	決算額+人件費	5,991千円	7,620千円	
533 「(仮称)所沢航空発祥祭」開催準備事業								産業経済部商業観光課			商業観光課長 松本 圭四郎		
目的	本事業は、日本で初めて飛行場からの飛行が成功した日とされる4月5日に、「日本の航空発祥の地 所沢」をPRするためのイベント「(仮称)所沢航空発祥祭」を市民主導で開催するための準備を進めるものである。							開始	R7	R6	R7		
								予算現額		-	50千円		
内容	実行委員会の設立を支援する。							決算額(R7見込)		-	6千円		
								正規職員数		-	0.46人		
指標	所沢航空発祥祭実行委員会の設立							R7現状	R7実績	R7目標	正規職員数(費)	-	3,886千円
								-	設立完了	設立完了	その他職員割合	-	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	V:事業終了	決算額+人件費	-	3,892千円	

533 所沢航空発祥祭開催支援事業										産業経済部商業観光課		商業観光課長 松本 圭四郎	
目的	本事業は、所沢飛行場で初飛行が成功した4月に、航空記念公園でイベントの開催準備を進めている「所沢航空発祥祭実行委員会」に補助金を交付し、支援することで、日本における航空発祥の地であることを本市固有の魅力として広く内外にPRするとともに、観光を軸としたブランド化の推進を図るものである。									開始	R7	R6	R7
										予算現額		-	900千円
内容	本イベントの実行委員会は、埼玉県や航空関係事業者等の協力も得ながら「所沢航空発祥祭」の開催を目指す。									決算額(R7見込)		-	900千円
										正規職員数		-	1.36人
指標	来場者数(R8.4.5開催) 多くの来場者に「航空発祥＝所沢」をPRし、ブランド化を図ることが目的であるため来場者数を指標とするもの。						R7現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		-	11,488千円
							-	開催準備	100,000人	その他職員割合		-	0.35人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	A:計画以上	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		-	12,388千円
533 eスポーツイベント等誘致推進事業										産業経済部商業観光課		商業観光課長 松本 圭四郎	
目的	本事業は、eスポーツ大会等の誘致を推進し、先進的なデジタルエンターテインメントを取り入れることにより、若者に向けた地域のイメージ向上及び「選ばれるまち」として都市ブランド力の強化を図るものである。 あわせて、イベント来訪者が多数訪れることにより、本市の新たな観光資源として経済波及効果が見込まれるものである。									開始	R7	R6	R7
										予算現額		0千円	10千円
内容	全国高校生対抗の大型eスポーツイベント「STAGE:0(ステージゼロ)」の誘致を目指し、主催者側と打合せを実施するもの。									決算額(R7見込)		0千円	0千円
										正規職員数		0.00人	0.34人
指標	全国高校生対抗の大型eスポーツイベント「STAGE:0(ステージゼロ)」の主催者との交渉回数						R7現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		0千円	2,872千円
							2回	2回	2回	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		0千円	2,872千円
534 香(こう)感度アップ！狭山茶PR事業										産業経済部農業振興課		農業振興課長 前田 亘一	
目的	狭山茶の香りを楽しむことができる茶香炉(お茶の香り出し器)を市内の公共施設に設置するとともに、各種イベントで活用することで、香りを通じて所沢の主要農産物である狭山茶の魅力を感じていただくために実施するもの。									開始	R4	R6	R7
										予算現額		651千円	260千円
内容	市内9箇所への常設を行うとともに、所沢市役所1階、2階での貸出を行うとともに、各種イベントで活用する。									決算額(R7見込)		308千円	90千円
										正規職員数		0.34人	0.26人
指標	茶香炉利用イベント数 所沢の主要農産物である狭山茶の魅力を、その香りを通じてPRすることを目的に実施している事業であるため、人が多く集うイベント時の利用回数を指標とする。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		2,775千円	2,196千円
							24回	24回	24回	その他職員割合		0.00人	0.04人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		3,083千円	2,286千円
534 地産地消推進事業										産業経済部農業振興課		農業振興課長 前田 亘一	
目的	新鮮でおいしい所沢農畜産物のPRを図り、地域で消費することにより、消費者の食の安心・安全へのニーズに応えるとともに、生産者の生産意欲の拡大を図る。 所沢農産物の学校給食への導入及び品目拡大、市民へのPR活動や生産者による直売会の開催、農産物直売所ガイドマップの作成等を実施することで、地産地消の推進を図る。									開始	H15	R6	R7
										予算現額		5,412千円	5,110千円
内容	西武学園医学技術専門学校のご協力による「地産地消レシピ」の開発や、農産物直売所ガイドマップの作成による市内直売所の周知を行うとともに、とどここ市開催支援を行い所沢産農産物の購入機会創出を行う。									決算額(R7見込)		5,075千円	4,907千円
										正規職員数		0.85人	0.84人
指標	所沢産農産物を地元の直売所やスーパーなどへ出荷した割合を指標とする。 毎年度、60％程度の維持を目標値とする。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		6,938千円	7,095千円
							68％	69％	60％	その他職員割合		0.00人	0.08人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	A:計画以上	方向性	I:事業規模拡大	決算額+人件費		12,013千円	12,002千円
534 体験農場推進事業										産業経済部農業振興課		農業振興課長 前田 亘一	
目的	市内10箇所の体験農場で市民が農作業を体験することにより、農業への理解を深め、「農のあるまちづくり」を推進することを目的とする。									開始	S59	R6	R7
										予算現額		2,370千円	3,731千円
内容	体験農場の貸し出しを行うとともに、利用者の農業技術の向上のため、年度内に2回(春・夏)「体験農場講習会」を開催する。									決算額(R7見込)		2,104千円	3,555千円
										正規職員数		0.77人	0.80人
指標	利用者の技術と意欲の向上及び農業への関心に最も寄与していると思われる「体験農場講習会」の参加人数を指標とする。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		6,285千円	6,758千円
							104人	69人	104人	その他職員割合		0.00人	0.03人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		8,389千円	10,313千円

534 農業祭開催推進事業								産業経済部農業振興課				農業振興課長 前田 亘一	
目的	販売会を通して、生産者自らが販売することで、都市住民とのふれあいの機会を設けるとともに、各種共進会や品評会において、生産技術の向上を図り、ひいては地産地消を推進する。							開始	S53	R6	R7		
								予算現額		500千円	500千円		
内容	農業祭では、農業団体代表が組織した農業祭実行委員会を中心に各団体が出店や展示、各種共進会、品評会並びに即売会を開催する。							決算額(R7見込)		500千円	500千円		
								正規職員数		0.33人	0.30人		
指標	農業祭での売上実績 事業の主たる目的が生産者と住民とのふれあい機会の創出による所沢農産物の地産地消の推進及びブランド化であることから、生産者と住民の接点となるイベント時の直接販売結果である売上実績を指標とする。							R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	2,693千円	2,534千円
								5,829千円	5,126千円	5,829千円	その他職員割合	0.00人	0.03人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	3,193千円	3,034千円	
534 所沢農産物ブランド化推進事業								産業経済部農業振興課				農業振興課長 前田 亘一	
目的	消費者意識の多様化、品質志向等への変化が生じている中で、市内で生産された安全・安心、新鮮な農産物について、農産物の品質や地域性を強みとして明確に打ち出し付加価値の向上を高めることで、地域経済の活性化を図る。							開始	H31	R6	R7		
								予算現額		803千円	881千円		
内容	市内のみならず市外の消費者に向けて所沢農産物をPRするとともに、販路拡大を支援していく。 (体験学習型所沢農産物PR事業の開催、オリジナルブランドシールの作成及び配付、長野県上田市との産業交流による商品開発事業等)							決算額(R7見込)		700千円	879千円		
								正規職員数		0.37人	0.39人		
指標	体験学習型所沢農産物PR事業親子収穫体験参加者 市内外の親子が所沢農産物に直接触れ、理解を深めるイベントである体験学習型所沢農産物PR事業への参加人数を指標とする。							R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	3,020千円	3,294千円
								20組40人	19組38名	20組40人	その他職員割合	0.00人	0.20人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	I:事業規模拡大	決算額+人件費	3,720千円	4,210千円	
534 世界農業遺産武蔵野の落ち葉堆肥農法推進事業								産業経済部農業振興課				農業振興課長 前田 亘一	
目的	世界農業遺産に認定された「武蔵野の落ち葉堆肥農法」を将来に受け継がれるべき伝統的な農業システムとして広く発信することを目指すとともに、平地林の育成と落ち葉堆肥を利用した伝統的農法の継続を推進する。							開始	H29	R6	R7		
								予算現額		781千円	825千円		
内容	世界農業遺産武蔵野の落ち葉堆肥農法推進協議会としての活動を行うほか、同農法による落ち葉掃き体験会の実施及び協力並びに各種イベント等で同農法のPRを実施する。							決算額(R7見込)		718千円	663千円		
								正規職員数		0.48人	0.41人		
指標	武蔵野の落ち葉堆肥農法の世界農業遺産認定に係る取組の進捗 世界農業遺産の認定を受け、農法の維持・保全に向けたブランド化を図ることを目標とする。							R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	3,918千円	3,463千円
								世界農業遺産の認定	農法の継続推進・周知	農法の継続推進・周知	その他職員割合	0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	4,636千円	4,126千円	
535 インバウンド戦略推進事業(COOLJAPANFOREST構想事業)								産業経済部商業観光課				商業観光課長 松本 圭四郎	
目的	高まるインバウンド需要を受け、「ところざわサクラタウン」等を目的に来日する外国人観光客を中心とした市外からの来訪者を対象に、豊かな自然や歴史等の地域資源について情報発信するとともに、市内における外国人観光客の受入体制整備を行う。							開始	H30	R6	R7		
								予算現額		734千円	100千円		
内容	①国外への市内観光情報の発信 ②FAMツアーの受入れ ※海外の旅行会社やメディア、インフルエンサーなどに市内観光地を視察してもらうツアー ③海外現地旅行会社とのネットワークづくり							決算額(R7見込)		639千円	100千円		
								正規職員数		1.12人	0.62人		
指標	X(旧Twitter)フォロワー数 SNSが外国人旅行者の情報源の主流となっていることから、外国人旅行者における本市の関心度や情報発信の効果を図るFacebook”いいね”とTwitterのフォロワー数を指標とする。							R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	9,141千円	5,237千円
								13,098人	14,974人	15,598人	その他職員割合	0.1人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	A:計画以上	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	9,780千円	5,337千円	
535 効果的な観光客誘致プロモーションの推進事業								産業経済部商業観光課				商業観光課長 松本 圭四郎	
目的	所沢市に観光客を誘致する。							開始	H3	R6	R7		
								予算現額		3,609千円	2,400千円		
内容	「所沢市観光大使」、イメージマスコット「トコロん」、観光ガイドブック、ロケーションサービス等を通じてプロモーションを行う。							決算額(R7見込)		3,029千円	2,163千円		
								正規職員数		0.68人	1.14人		
指標	トコロんSNS(X, Instagram, Facebook)”フォロワー”数 SNSを活用して情報発信した効果を示す指標。 数値は、トコロんSNSのフォロワー数の合計。毎年度、1,000人の増加をめざすもの。							R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	5,550千円	9,630千円
								18,740人	21,672人	23,740人	その他職員割合	0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	A:計画以上	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	8,579千円	11,793千円	

541 産業人材確保推進事業										産業経済部産業振興課		産業振興課長 石川 純也	
目的	学生や大学等に対して、市内の中小企業の優れた技術・サービスをPRするなど、市内事業者の若年人材確保について支援を行うことにより、市内事業者の活性化を図るものである。									開始	H31	R6	R7
										予算現額		266千円	307千円
内容	「とこジョブ」を作成しHPIに製造業者の情報を掲載したり、学生や大学等に対して市内の中小企業の優れた技術・サービスをPRするなど、市内事業者の若年人材確保について支援を行う。									決算額(R7見込)		234千円	171千円
										正規職員数		0.50人	0.48人
指標	市ホームページ等で紹介した事業者数(累計)市内事業所の人材確保に対する支援の取組状況を示す指標。 数値は、市ホームページ等(「若者のための所沢ものづくり企業ジョブガイド」)で優れた技術やサービスを紹介した市内事業者数の累計。令和10年度までに累計50者以上をめざすもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		4,081千円	4,055千円
							18回	18回	50回	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	B:やや貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅲ:要改善	決算額+人件費		4,315千円	4,226千円
542 就労チャレンジ支援事業										産業経済部産業振興課		産業振興課長 石川 純也	
目的	ハローワーク所沢等の関係機関と連携し、就労意欲のある若年者や女性、高齢者の就職を支援することを目的とする。									開始	H23	R6	R7
										予算現額		20千円	20千円
内容	若年者を対象とした就労の援助や支援として、ハローワーク所沢と就職面接会を実施している。									決算額(R7見込)		20千円	10千円
										正規職員数		0.24人	0.25人
指標	就職応援フェア参加者数(若年者) 就労支援に関する取組状況を示す指標。 数値は、就労の援助や支援等の施策を一体的に実施するため開催する就職応援フェア(共催:所沢市、厚生労働省埼玉労働局)における若年者の参加者数。毎年度、80人以上をめざすもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		1,959千円	2,112千円
							115人	140人	80人	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	B:やや貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		1,979千円	2,122千円
542 技能功労者及び障害者雇用優良事業所表彰事業										産業経済部産業振興課		産業振興課長 石川 純也	
目的	永年にわたり同一の職業に従事する技能者の表彰について必要な事項を定め、技能者の勤労意欲の増進及び資質の向上を図るとともに技能尊重の気運を高めることを目的とするもの。									開始	S54	R6	R7
										予算現額		164千円	164千円
内容	技能者の勤労意欲及び資質の向上を図り、技能尊重の機運を高めるとともに、市内事業所における障害者雇用の促進を図ることを目的とし、技能功労者及び障害者雇用優良事業所を表彰するもの。									決算額(R7見込)		80千円	117千円
										正規職員数		0.18人	0.23人
指標	被表彰者数及び被表彰事業所数 技能功労者表彰者数及び障害者雇用優良事業所表彰団体数の合計を目標値とした。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		1,469千円	1,943千円
							4者	8者	4者	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		1,549千円	2,060千円
542 障害者雇用推進企業支援事業										産業経済部産業振興課		産業振興課長 石川 純也	
目的	障害者の雇用の場の確保と事業者の社会的責任の向上を促し、共生社会の実現に資することを目的とする。									開始	H25	R6	R7
										予算現額		550千円	550千円
内容	市内事業者が、障害者を雇用する場合等に要する経費に対し、補助金(事業補助金・雇用助成金・職場実習奨励金)を交付する。									決算額(R7見込)		100千円	150千円
										正規職員数		0.09人	0.17人
指標	補助制度を利用し雇用した障害者数 障害者の雇用の場の確保を目的としているため、補助制度を利用し雇用した障害者数を目標値とした。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		735千円	1,436千円
							0人	1人	1人	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	B:やや貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		835千円	1,586千円
542 就業支援事業										産業経済部産業振興課		産業振興課長 石川 純也	
目的	勤労者及び求職者を対象としたパソコン講座を実施し、技能向上を図ることにより、勤労者については職業能力開発に、求職者については就業援助に資することをも苦とする。									開始	H12	R6	R7
										予算現額		960千円	968千円
内容	就業希望者の就職支援及び中小企業勤労者等のキャリアアップを目的とした日商PC検定対策講座を開催する。 なお、ハローワークにおいて一定期間内に求職活動をしている失業者については、求職活動証明書の提出により、受講料6,000円を3,000円に一部減免する取扱いを行う。									決算額(R7見込)		960千円	495千円
										正規職員数		0.13人	0.16人
指標	受講率 受講人数/定員(100名)×100 可能な限り多くの方が受講できるよう、受講率を目標値とした。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		1,061千円	1,352千円
							64.0%	22.0%	64.0%	その他職員割合		0.05人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅲ:要改善	決算額+人件費		2,021千円	1,847千円

542 勤労者福祉サービスセンター補助金										産業経済部産業振興課		産業振興課長 石川 純也	
目的	市内中小企業勤労者等の福利厚生充実と発展を目的とする。									開始	H10	R6	R7
										予算現額		10,003千円	10,003千円
内容	所沢市中小企業勤労者福祉サービスセンターに対して補助金の交付を行う。									決算額(R7見込)		10,000千円	10,000千円
										正規職員数		0.12人	0.12人
指標	会員数 事業のスケールメリットを活かすために、会員数の増加を目指す。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		979千円	1,014千円
							943人	970人	943人	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	B:やや貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	A:計画以上	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		10,979千円	11,014千円
542 勤労者福祉充実事業										産業経済部産業振興課		産業振興課長 石川 純也	
目的	中小企業に勤務する常用労働者及びパートタイム労働者の福祉の向上、雇用の安定及び中小企業の振興を図ることを目的とする。									開始	H1	R6	R7
										予算現額		6,304千円	7,132千円
内容	市内事業所が退職金共済制度に新規加入した場合に、3年間を限度とし、1年間に支払った共済掛金(従業員1人当たりの月額掛金が1万円を超える場合は1万円を限度とする)の20%以内で補助金を交付する。									決算額(R7見込)		5,186千円	5,432千円
										正規職員数		0.17人	0.16人
指標	新規加入事業所数 加入は事業所単位で行われることから、新規に加入した事業主の数を目標値とした。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		1,388千円	1,352千円
							30事業所	22事業所	30事業所	その他職員割合		0.1人	0.00人
貢献度	B:やや貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		6,574千円	6,784千円
542 ラーク所沢運営事業										産業経済部産業振興課		産業振興課長 石川 純也	
目的	勤労者福祉施設の活用促進等を通じて、勤労者福祉の総合的な向上を図ることを目的とする。									開始	S63	R6	R7
										予算現額		37,969千円	32,640千円
内容	指定管理者である「シンコースポーツ株式会社」とともに、適正かつ円滑にラーク所沢の管理運営及び活用を行う。									決算額(R7見込)		37,900千円	32,566千円
										正規職員数		0.34人	0.38人
指標	年間利用率(各部屋平均) 年間利用数/総利用区分数(9施設×6区分×開館日数)						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		2,775千円	3,210千円
							50%	50.2%	50%	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	B:やや貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	A:計画以上	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		40,675千円	35,776千円
542 労働セミナー・労働相談等開催事業										産業経済部産業振興課		産業振興課長 石川 純也	
目的	労働セミナー、労働相談等を実施することにより、労働をめぐる様々なトラブルの解決等を目的とする。									開始	S57	R6	R7
										予算現額		393千円	393千円
内容	○労働セミナー：①埼玉県との共催により、労働法の基礎知識や安全衛生を学ぶための社会人向けセミナーを開催(対面(開催の可否は県との調整による)及び動画配信)。②就職を希望する市内の中学生を対象とする労働法の基礎を学ぶためのセミナーを開催する。 ○労働相談：社会保険労務士を相談員として、労働に関する相談を行うことで、労働者及び事業主が抱える様々な悩みや疑問を解決する。									決算額(R7見込)		249千円	251千円
										正規職員数		0.10人	0.10人
指標	セミナー参加者のうち、労働者及び使用者の受講者数(延べ人数) ※対面セミナーが開催できなかった場合は、参考として動画視聴回数を実績とする。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		816千円	845千円
							326人	【参考】4438回	326人	その他職員割合		0.05人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		1,065千円	1,096千円
542 農福連携推進事業										産業経済部農業振興課		農業振興課長 前田 亘一	
目的	農業分野と福祉分野の垣根を越えた「農福連携」の取組みを推進することにより、農業経営体には働き手を提供し、高齢者や障害者には生きがいや働く場を創出することで、農業分野での人手不足を解消しつつ障害者等の活躍を促す。									開始	H31	R6	R7
										予算現額		0千円	0千円
内容	先進事例の調査研究を進めるとともに、関係機関の協力を得ながら、取組みを周知し、農福連携を浸透させていく。また、連携を希望する事業者を対象に高齢者等の受入や農業参入に関する相談受付を行う。									決算額(R7見込)		0千円	0千円
										正規職員数		0.15人	0.08人
指標	農福連携に係る情報提供回数 農福連携の取組みを推進するには、農業・福祉の連携事例や支援事業等の認知度向上を図る必要があるため、情報の提供回数を指標とする。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		1,224千円	676千円
							3回	3回	3回	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		1,224千円	676千円

551 国際友好委員会交付金										経営企画部企画総務課			企画総務課長 澤 敦史				
目的	外国の姉妹都市との交流は、行政主導の交流から民間が主体となった交流へと移っており、この流れを促進していくため、海外姉妹都市との交流を主体的に進める所沢市国際友好委員会に対して助成をし、その活動を支援する。									開始	S55	R6	R7				
										予算現額		1,400千円		1,400千円			
内容	国際友好活動の促進のため、国際友好委員会の実施する主に下記の活動に要する経費を対象とする。 ①姉妹都市(米国・ディケイター市、中国・常州市、韓国・安養市)への一般市民訪問団の派遣 ②姉妹都市から来訪する訪問団との交流 ③姉妹都市への文化・スポーツ団体等の訪問団に対する支援④外国人市民との交流									決算額(R7見込)		758千円		703千円			
										正規職員数		0.60人		0.31人			
指標	友好委員会事業に参加した市民の数 外国の文化や姉妹都市交流に対する市民の興味・理解を促進する必要があるため。									R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	4,897千円		2,619千円	
										85人		92人		85人		その他職員割合	
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費		5,655千円		3,322千円		
551 国際交流推進事業										経営企画部企画総務課			企画総務課長 澤 敦史				
目的	様々な事業を通して姉妹都市を中心とした海外都市との関係を構築することを目的とする。。									開始	-	R6	R7				
										予算現額		1,868千円		630千円			
内容	①姉妹都市からの訪問団の受入れ等を通して、先進的な取組について行政情報の交換を行う。 ②姉妹都市との間で周年に合わせて代表訪問団の派遣・受入れを相互に行うなど、信頼関係の促進に努める。 ③姉妹都市以外の海外都市との様々な交流を通じて、相互の理解を深める。									決算額(R7見込)		203千円		156千円			
										正規職員数		0.85人		0.72人			
指標	姉妹都市交流事業に参加した市民の人数外国の文化や姉妹都市との交流への興味・理解を促進する取組の効果を測る指標。 数値は、姉妹都市交流事業に参加した市民の人数。令和10年度までに150人をめざすもの。									R5現状	R7実績	R10	正規職員数(費)	6,938千円		6,082千円	
										141人		55人		150人		その他職員割合	
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費		7,141千円		6,238千円		
551 海外都市学生交流事業										経営企画部企画総務課			企画総務課長 澤 敦史				
目的	姉妹都市に派遣員(高校生等)を派遣し、社会、文化等の交流を通して、外国人との相互理解を深めていくとともに、将来を担う青少年に広い視野から郷土、国家、国際社会を理解させることにより、次代を築く人材を育成していく。									開始	H3	R6	R7				
										予算現額		839千円		2,125千円			
内容	米国ディケイター市との間で、派遣と受入れを毎年交互に行い、派遣員は一般家庭で2週間程度のホームステイを体験し、生活習慣や文化を体験する。									決算額(R7見込)		851千円		1,357千円			
										正規職員数		0.65人		0.69人			
指標	事業の参加により国際社会についての理解度が深まった派遣員の割合 相手国との理解を深め、安定的な関係を築くために、視察等の交流を通して相互の交流目的を果たすことができているか確認する必要があるため。									R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	5,305千円		5,828千円	
										6人		6人		6人		その他職員割合	
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費		6,156千円		7,185千円		
551 イタリア都市文化交流推進事業										経営企画部企画総務課			企画総務課長 澤 敦史				
目的	航空にゆかりのあるイタリア共和国ティエーネ市との交流を発展させることにより、本市における国際理解や多文化共生の推進を図る。									開始	R7	R6	R7				
										予算現額		-		1,982千円			
内容	イタリア共和国ティエーネ市とは、本市が東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会におけるイタリアのホストタウンとなったことを契機に交流が始まった。令和4年度には、所沢市代表訪問団が同市を訪問し、文化・芸術をはじめ様々な分野で継続的に交流していくことで正式に合意し、以後交流を続けている。									決算額(R7見込)		-		1,096千円			
										正規職員数		-		0.61人			
指標	①予定した日程で受入れを実施できた割合(実施した回数:1回／予定した回数:1回) ②年度中に子どもの絵による交流を実施できた割合(実施した回数:1回／予定した回数:1回) 相手国との交流推進のため、予定した交流機会を予定どおり実施したことをもって指標とする(令和7年度については①と②の合計:2回／2回)。									R7現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	-		5,153千円	
										100%		100%		-		その他職員割合	
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅴ:事業終了		決算額+人件費		-		6,249千円		
551 米国タンパ市受入事業										経営企画部企画総務課			企画総務課長 澤 敦史				
目的	アメリカ合衆国フロリダ州タンパ市の市長をはじめとする関係者が、令和7年4月に本市を来訪する予定であったことから、その受入れを実施するもの。									開始	R7	R6	R7				
										予算現額		-		187千円			
内容	埼玉西武ライオンズの元選手がアメリカ合衆国フロリダ州のタンパ市在住であることから、同市がその縁をきっかけに所沢市との友好交流を希望しており、タンパ市長をはじめとする関係者が本市を来訪することに伴いその受入れを実施する。									決算額(R7見込)		-		40千円			
										正規職員数		-		0.11人			
指標	予定した受入れを実施できた割合(実施した回数:1回／予定した回数:1回) 相手国の来訪に伴い、予定した日程で確実に受入れを実施したことをもって指標とするもの。									R7現状	R7実績	R7目標	正規職員数(費)	-		929千円	
										100%		100%		-		その他職員割合	
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅴ:事業終了		決算額+人件費		-		969千円		

552 行政資料の多言語化推進事業										経営企画部企画総務課		企画総務課長 澤 敦史	
目的	外国人市民に対し、市政情報を多言語(「やさしい日本語」を含む)で提供し、言葉や生活習慣などの違いから日常生活や災害時に感じる不便をなくしていく。									開始	H31	R6	R7
										予算現額		36千円	516千円
内容	①年1回程度、庁内で多言語化に関する調査を行い、実態に合った効果的な支援策を講じる。 ②外国人市民のニーズが高い情報を多言語化するため、関係課と連携し、多言語化の支援などを行う。 ③やさしい日本語の普及を行う。									決算額(R7見込)		0千円	495千円
										正規職員数		0.38人	0.35人
指標	多言語化した行政資料の数(「やさしい日本語」含む) 外国人市民が暮らしやすい環境を促進する取組の効果を測る指標。 数値は、市が発行する行政資料のうち多言語化対応した資料の数。令和10年度までに100件をめざすもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		3,102千円	2,956千円
							78件	70件	100件	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		3,102千円	3,451千円
553 国際交流フォーラム開催支援事業										経営企画部企画総務課		企画総務課長 澤 敦史	
目的	外国人市民との共生意識の醸成を図る。									開始	H7	R6	R7
										予算現額		200千円	200千円
内容	市内の国際交流ボランティア(団体・個人)が実行委員会を組織し、年1回、主に下記の内容について実施し、市民(外国人市民を含む)間のコミュニケーションの機会、知人作りや国際理解の場を提供している。 ①姉妹都市の紹介 ②日本人、外国人市民がグループになって話す交流会 ③舞台での発表(和太鼓・歌・ダンス等) ④常設コーナー(姉妹都市と本市の子どもが描いた絵の展示等)									決算額(R7見込)		200千円	200千円
										正規職員数		0.69人	0.62人
指標	参加者数 外国人市民が増加しており、外国人市民との共生意識を育んでいくには、より多くの方に本事業に携わってもらうことが重要であるため。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		5,632千円	5,237千円
							645人	802人	645人	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	A:計画以上	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		5,832千円	5,437千円
553 多文化共生推進事業										経営企画部企画総務課		企画総務課長 澤 敦史	
目的	日本人市民と外国人市民が互いの文化的な違いを認め合い対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員としての共生意識を育む。									開始	H31	R6	R7
										予算現額		60千円	96千円
内容	①多文化共生に関する研修や講座を実施する。 ②NGOやボランティアと連携し、外国人市民への支援を行う。									決算額(R7見込)		10千円	30千円
										正規職員数		0.55人	0.42人
指標	国際交流フォーラムにおける外国人の参加割合 多文化共生の意識を育む環境づくりを促進する取組の効果を測る指標。 数値は、国際交流フォーラムにおける外国人の参加割合。毎年度、現状値以上をめざすもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		4,489千円	3,548千円
							8.9%	9.8%	現状値以上	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		4,499千円	3,578千円
561 音楽のあるまちづくり推進事業										市民部文化芸術振興課		文化芸術振興課長 河西 秀樹	
目的	あらゆる世代の市民や所沢市を訪れる方々に、音楽を演奏する機会、聴く機会を常に身近なものとして定着させ、豊かな音楽文化が持続的に発展できるよう取り組んでいく。プロ、アマを問わず音楽を通じた交流や音楽環境の活性化を図る。									開始	H24	R6	R7
										予算現額		1,580千円	1,316千円
内容	・まちなかコンサートの開催:ミュージシャンの発表の場や市民の気軽な音楽鑑賞の場を創出するため、市内各所で実施。 ・音まちファミリーコンサート・音まち青春ROCKの開催:子どもたちやその保護者等にとって身近な場所でコンサートを開催することにより、気軽にクラシックやロックに触れる機会を創出する。 ・「音まち」推奨制度:市内の音楽行事等を「音まち推奨」として市が認定し、集客や情報入手の一助を図る。									決算額(R7見込)		1,108千円	1,267千円
										正規職員数		1.42人	0.99人
指標	SNS(X, Instagram, Facebook)"フォロワー"数SNSを活用して情報発信した効果を示す指標。 数値は、文化芸術振興課の「音楽のあるまちづくり」SNS及び「アートなトコロザワ」SNSにおけるフォロワー数の合計。令和10年度までに2,500人の増加をめざすもの。						R5現状	R7実績	R10	正規職員数(費)		11,590千円	8,363千円
							1,800人	4,145人	4,300人	その他職員割合		0.03人	0.02人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	A:計画以上	方向性	I:事業規模拡大	決算額+人件費		12,698千円	9,630千円
561 市民文化センター管理運営事業										市民部文化芸術振興課		文化芸術振興課長 河西 秀樹	
目的	本市の文化芸術振興のため、所沢市民文化センターにおける事業運営と施設管理を行い、市民の芸術に触れ合う機会の増進と施設利用者の増加を促進する。									開始	H5	R6	R7
										予算現額		727,118千円	732,757千円
内容	施設の管理運営方法については、指定管理者制度を導入しており、指定管理者である公益財団法人所沢市文化振興事業団が実施している。 なお、平成30年12月から令和2年3月までは大規模改修を、令和2年4月から令和12年3月までは維持管理を、共にPFI事業者が実施している。									決算額(R7見込)		727,110千円	732,604千円
										正規職員数		1.15人	1.60人
指標	施設稼働率(%) ※年間利用回数÷年間利用可能回数(閉館日を除く) 所沢市民文化センターは、本市における文化芸術活動の拠点であり、市民が芸術に触れる機会の増進を図り、施設利用者の増加を促進するために施設稼働率を指標とする。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		9,386千円	13,515千円
							55.6%	54.0%	56.0%	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		736,496千円	746,119千円

561 所沢駅東口市民ギャラリー管理運営事業										市民部文化芸術振興課			文化芸術振興課長 河西 秀樹	
目的	所沢駅東口市民ギャラリーは、市民の文化芸術活動等の促進を図ることを目的とした施設である。									開始	H29	R6	R7	
										予算現額		15,649千円	15,920千円	
内容	ギャラリーとして一般利用に供している。 また、施設の管理運営方法については、指定管理者制度を導入しており、指定管理者である公益財団法人所沢市公共施設管理公社が実施している。									決算額(R7見込)		14,990千円	15,223千円	
										正規職員数		0.50人	0.27人	
指標	施設稼働率(%) ※年間利用回数÷年間利用可能回数(閉館日を除く) 市民の文化芸術活動の発表の場「ギャラリー」として、市民へ利用に供し文化芸術活動等の促進を図るため、施設稼働率を指標とする。				R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	4,081千円	2,281千円				
					67.2%	60.7%	62.0%	その他職員割合	0.00人	0.00人				
貢献度	B:やや貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	19,071千円	17,504千円		
561 三ヶ島アートなベンチ設置事業										市民部文化芸術振興課			文化芸術振興課長 河西 秀樹	
目的	緑豊かな大地、歴史的な風土等貴重な資源や要素を備えた三ヶ島地区において、文化芸術による愛着や誇りの醸成、地域活性化を図ることを目的として実施する目的として、「アートベンチ」を制作し、設置するものである。									開始	R5	R6	R7	
										予算現額		1,130千円	850千円	
内容	地元住民や学校、アーティスト等と連携し、座れるアート作品「アートベンチ」を制作・設置するもの。									決算額(R7見込)		1,076千円	840千円	
										正規職員数		0.70人	0.55人	
指標	文化芸術に関する施策の満足度に相関性のある数字であると判断し、「アートなトコロザワ」SNSにおけるフォロワー数を指標とした。 (令和6年度から「アートなトコロザワ」SNSを開設したため、令和5年度の現状については未記入)				R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	5,713千円	4,646千円				
					—	578人	750人	その他職員割合	0.00人	0.00人				
貢献度	B:やや貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	6,789千円	5,486千円		
561 「所沢駅アート展」開催事業										市民部文化芸術振興課			文化芸術振興課長 河西 秀樹	
目的	市民の文化芸術への関心を高めるとともに、作品発表の機会を作ることで市民や若手作家の創作活動を支援することを目的とする事業である。									開始	R6	R6	R7	
										予算現額		273千円	268千円	
内容	所沢駅構内にて、公募により募集した絵画作品を展示する。									決算額(R7見込)		192千円	203千円	
										正規職員数		0.67人	0.28人	
指標	展覧会アンケートの満足度				R6現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	5,469千円	2,365千円				
					—	86%	100%	その他職員割合	0.02人	0.03人				
貢献度	B:やや貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	5,661千円	2,568千円		
561 「(仮称)音まちFESTIVAL」開催支援事業										市民部文化芸術振興課			文化芸術振興課長 河西 秀樹	
目的	「音楽のあるまちづくり」の更なる推進に向け、音楽イベント「武蔵野 MUSIC JAM 2026」((仮称)音まち FESTIVAL)の開催を支援するものである。本事業では、所沢にゆかりのある音楽アーティストからの「縁」をブックングコンセプトとし、日本有数の音楽イベントなどで活躍する著名アーティストの出演により、音楽のあるまち所沢の取組を対外的にアピールする。									開始	R7	R6	R7	
										予算現額		-	100千円	
内容	ルーツミュージックを基本とし、ミュージシャンから一目置かれるような方をブックングする音楽ステージを展開する。									決算額(R7見込)		-	49千円	
										正規職員数		-	0.68人	
指標	来場者による支持の度合いを推定できる数字と考えたため、イベント収支の損益分岐に相当する動員数(無料入場者含む)を指標とした。				R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	-	5,744千円				
					—	900人	700人	その他職員割合	-	0.00人				
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	A:計画以上	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	-	5,793千円		
561 三ヶ島アーティスト・イン・レジデンス実施事業										市民部文化芸術振興課			文化芸術振興課長 河西 秀樹	
目的	三ヶ島地区において、アーティストやアート関係者に地域へ滞在する機会を提供し、アート作品の制作や発表、ワークショップ等を行うアーティスト・イン・レジデンス(AIR)事業を実施することで、アーティストと地域住民、地域住民同士の交流の機会を創出するものである。地域住民の定住や、アーティストの移住先として本市が選択肢となる等、地域活性化を目指す。									開始	R7	R6	R7	
										予算現額		-	1,971千円	
内容	・地元企業への訪問、リサーチ(9月～11月) ・ワークショップの開催(10月19日) ・作品制作(12月) ・成果展の実施(令和8年1月)									決算額(R7見込)		-	1,971千円	
										正規職員数		-	0.48人	
指標	お披露目展示(成果展)来場者数				R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	-	4,055千円				
					—	300人	—	その他職員割合	-	0.00人				
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	V:事業終了	決算額+人件費	-	6,026千円		

561 「(仮称)第52回将棋の日in所沢」開催支援事業										市民部文化芸術振興課		文化芸術振興課長 河西 秀樹	
目的	令和8年度の「(仮称)第52回将棋の日in所沢」の開催を支援するとともに、本市と将棋の関係性や、ゆかりのある棋士を広くPRすることにより、地域への愛着や誇りの醸成、ブランドイメージの向上を図るものである。									開始	R7	R6	R7
										予算現額		-	209千円
内容	令和7年度は「第51回将棋の日in棋士のまち加古川」を視察するとともに、日本将棋連盟や市内関係団体と、実行委員会設立に向けた協議を進めた。									決算額(R7見込)		-	203千円
										正規職員数		-	0.53人
指標	地域への誇りや愛着、ブランドイメージの向上を図る上で、イベントへの相当数の動員が必要と考え、過去の「将棋の日」イベント及び会場収容人数を踏まえた目標動員数を指標とした。						R5現状	R7実績	R8目標	正規職員数(費)		-	4,477千円
							—	—	1,500人	その他職員割合		-	0.00人
貢献度	B:やや貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		-	4,680千円
562 埋蔵文化財発掘調査事業										教育総務部文化財保護課		文化財保護担当参事 古田 晃一	
目的	開発等により遺跡が破壊される前に、記録保存を行い、後世へ伝えることを目的に実施する。									開始	S51	R6	R7
										予算現額		40,855千円	44,293千円
内容	①埋蔵文化財包蔵地(遺跡)内で開発等が計画された場合に確認調査を実施する。②遺構が発見され、開発等により破壊される可能性がある場合には発掘調査を実施する。									決算額(R7見込)		36,682千円	36,819千円
										正規職員数		0.81人	1.26人
指標	確認調査依頼数に対する確認調査実施数 開発等により破壊される前に確認調査によって遺構の有無を判断し、本調査で迅速かつ正確に遺跡に関する記録を行うことが当事業の目的となっているため、確認調査の実施率を指標とし達成率100%を目標値とした。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		6,611千円	10,643千円
							100%	100%	100%	その他職員割合		10.80人	16.50人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		43,293千円	47,462千円
562 発掘調査報告書等刊行事業										教育総務部文化財保護課		文化財保護担当参事 古田 晃一	
目的	発掘調査報告書の刊行により、発掘調査の成果を公開することで、歴史や郷土研究への貢献を目的に実施する。また、年報の刊行により、発掘調査や確認調査の成果を公開することで、市民や開発事業者等に所沢市の埋蔵文化財を周知し、文化財保護意識を啓発し、開発計画などによる遺跡の破壊を未然に防止する。									開始	S52	R6	R7
										予算現額		12,778千円	16,124千円
内容	①発掘調査報告書の刊行 ②年報の刊行									決算額(R7見込)		11,862千円	13,384千円
										正規職員数		0.51人	0.70人
指標	発掘調査報告書刊行調査回数 記録した遺跡の情報を報告書として刊行し公開することが当事業の目的となっているため、報告書を刊行した発掘調査回数を指標とし、報告書刊行済の調査報告回数に、現年度刊行予定の報告書掲載発掘調査回数を加えたものを目標値とした。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		4,163千円	5,913千円
							389件	419件	450件	その他職員割合		8.00人	7.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		16,025千円	19,297千円
562 埋蔵文化財普及公開事業										教育総務部文化財保護課		文化財保護担当参事 古田 晃一	
目的	埋蔵文化財に対する理解を深めるとともに、郷土の歴史や文化財保護意識を高めることを目的に実施する。									開始	H6	R6	R7
										予算現額		2,123千円	2,315千円
内容	①小中学校を対象とした来館授業・体験学習・出張授業等 ②施設見学 ③埋文まつり ④外部公共施設等への資料貸出・展示 ⑤最新発掘展示 ⑥講師派遣 ⑦講演会 ⑧教員研修									決算額(R7見込)		1,966千円	3,074千円
										正規職員数		0.51人	0.37人
指標	文化財公開活用事業への参加者数 郷土の歴史や埋蔵文化財行政を周知することが当事業の目的であるため、市民の関心や理解度を図る数値として公開活用活動参加者数を指標とする。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		4,163千円	3,125千円
							4,396人	5,458人	6,000人	その他職員割合		2.52人	3.53人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		6,129千円	6,199千円
562 埋蔵文化財遺物整理保存事業										教育総務部文化財保護課		文化財保護担当参事 古田 晃一	
目的	遺跡から出土した遺物の整理作業や保存処理を行い、発掘調査報告書に掲載するとともに、実物資料として後世に伝えていくことを目的に実施する。									開始	S50	R6	R7
										予算現額		15,979千円	16,348千円
内容	①遺物の洗浄 ②注記 ③接合 ④復元 ⑤着色 ⑥報告書掲載遺物の選出 ⑦実測 ⑧拓本 ⑨保存処理 ⑩科学分析									決算額(R7見込)		15,151千円	16,166千円
										正規職員数		0.11人	0.11人
指標	発掘調査報告書刊行調査回数 発掘調査の成果を報告書として刊行するために遺物の整理を行うことが当事業の目的であるため、報告書を刊行した発掘調査回数を指標とし、報告書刊行済の調査報告回数に、現年度刊行予定の報告書掲載発掘調査回数を加えたものを目標値とした。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		898千円	929千円
							389件	419件	450件	その他職員割合		5.00人	3.80人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		16,049千円	17,095千円

562 滝の城跡整備事業								教育総務部文化財保護課				文化財保護担当参事 古田 晃一	
目的	中世城跡の価値を見出し、計画的に保存・整備を進めることで、後世へ残し伝えることを目的に実施する。								開始	H19	R6	R7	
									予算現額		3,130千円	2,142千円	
内容	①保存管理・整備基本計画の策定 ②危険箇所等の改修工事 ③史跡内の発掘調査 ④発掘調査報告書の刊行 ⑤整備方針の検討 ⑥歴史的評価の検証 ⑦保存整備								決算額(R7見込)		2,327千円	1,748千円	
									正規職員数		0.68人	0.48人	
指標	保存会会員数+現地見学者数(団体のみ) 「滝の城跡」を後世に護り伝えていくために、保存活動をしている団体の会員数、及び現地見学者(団体)数、また滝の城跡関連の普及事業参加者数を指標とした。							R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	5,550千円	4,055千円
								81人	176人	100人	その他職員割合	1.00人	1.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	A:計画以上	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費	7,877千円	5,803千円
562 文化財公開活用事業								教育総務部文化財保護課				文化財保護担当参事 古田 晃一	
目的	文化財の公開や文化財を活用した事業を実施することで、市民等に「ふるさと所沢」への愛着や、文化財保護意識を醸成することを目的に実施する。								開始	H18	R6	R7	
									予算現額		8,299千円	6,516千円	
内容	①指定文化財等の情報公開 ②指定文化財等の管理 ③展示や講座などの指定文化財等の公開活用事業の開催								決算額(R7見込)		8,131千円	5,744千円	
									正規職員数		0.31人	0.30人	
指標	文化財に関する市民理解度 文化財を身近に感じ、後世へ護り伝えていく意識を持つ市民等を増やすことを目的にしているため、市民等の理解度を指標とする。							R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	2,530千円	2,534千円
								50%	89%	90%	その他職員割合	0.35人	0.15人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費	10,661千円	8,278千円
562 ミヤコタナゴ保護対策事業								教育総務部文化財保護課				文化財保護担当参事 古田 晃一	
目的	絶滅危惧種で国指定天然記念物であるミヤコタナゴの種の保存と、環境学習等に活用を図ることを目的に実施する。								開始	H8	R6	R7	
									予算現額		4,727千円	4,701千円	
内容	①人工増殖による必要な個体数の維持 ②市内小学校等での飼育展示 ③中学生の職場体験学習における飼育体験								決算額(R7見込)		4,589千円	4,345千円	
									正規職員数		0.52人	0.31人	
指標	埋蔵文化財調査センターにおいて人工増殖により増加した個体数 ミヤコタナゴの種の保存のため、飼育総数個体3,000～3,500を目標としていることから、当該年度の人工増殖数を指標とする。							R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	4,244千円	2,619千円
								1,012尾	1,262尾	1,300尾	その他職員割合	3.10人	1.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費	8,833千円	6,964千円
562 郷土の民俗芸能支援事業								教育総務部文化財保護課				文化財保護担当参事 古田 晃一	
目的	市内に伝承されている民俗芸能を広く市民に周知し、その技能や道具類を後世へ護り伝ええるとともに、郷土の民俗芸能を継承する保存団体の存続と発展を目的に実施する。								開始	H5	R6	R7	
									予算現額		300千円	863千円	
内容	①伝統芸能発表会の開催(隔年) ②郷土の民俗芸能を継承する保存団体の自主的な活動を支援								決算額(R7見込)		300千円	813千円	
									正規職員数		0.21人	0.43人	
指標	郷土の民俗芸能の披露日数 市内に伝承されている民俗芸能の市民への周知と継承、その保存団体の存続と発展を目的としているため、披露日数を指標にしている。							R6現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	1,714千円	3,632千円
								23日	24日	34日	その他職員割合	0.02人	0.03人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費	2,014千円	4,445千円
562 指定文化財管理費等補助事業								教育総務部文化財保護課				文化財保護担当参事 古田 晃一	
目的	市内に所在する指定文化財を保存・管理し、これを良好な状態で後世に継承するために実施する。								開始	S56	R6	R7	
									予算現額		2,273千円	2,273千円	
内容	①市指定文化財の所有(管理)者が補助金の交付申請をする ②文化財等保存事業費補助金等交付要綱に基づき交付 ③実績報告により管理状況等を確認する								決算額(R7見込)		1,375千円	1,544千円	
									正規職員数		0.26人	0.42人	
指標	所有者(管理者)の申請数と交付数の率 指定文化財は市民の個人管理も多く、経費の一部を市が支援することは、指定文化財を良好な状態で保存・管理することにつながるため指標とした。							R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	2,122千円	3,548千円
								100%	100%	100%	その他職員割合	0.13人	0.13人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費	3,497千円	5,092千円

562 埋蔵文化財調査センター施設管理事業										教育総務部文化財保護課		文化財保護担当参事 古田 晃一	
目的	来館者等の安全を図るとともに、発掘調査により出土した遺物などを整理・保存し、後世に伝え提供する施設として、適正に管理することを目的に実施する。									開始	H6	R6	R7
										予算現額		27,545千円	12,540千円
内容	施設管理業務委託等による各種点検を行い、必要な修繕を実施する。									決算額(R7見込)		25,211千円	10,278千円
										正規職員数		0.56人	0.71人
指標	年間の施設修繕数 来館者等の安全管理及び収蔵資料を後世に伝えていくために適正な施設管理を行うことが目的であるため、計画的な施設修繕が遂行できているか、修繕実施数を指標とした。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		4,571千円	5,997千円
							6件	10件	5件	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	B:やや貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費	29,782千円	16,275千円
562 中富・柳瀬・山口民俗資料館管理運営事業										教育総務部文化財保護課		文化財保護担当参事 古田 晃一	
目的	中富・柳瀬・山口民俗資料館の管理運営により、市の保有する各地域ごとに伝わる民俗資料の保存と市民への公開を行い、郷土への理解を深める機会を提供することを目的に実施する。									開始	S56	R6	R7
										予算現額		4,726千円	6,371千円
内容	①中富・柳瀬・山口民俗資料館の開館業務(開館日:各館月4回、開館時間:午前9時～午後4時30分、入館料:無料) ②各地域の特色が見られる民俗資料の保存・展示 ③小中学校の社会科見学や総合学習の支援など。									決算額(R7見込)		4,546千円	5,313千円
										正規職員数		0.33人	0.51人
指標	各地域ごとに伝わる民俗資料を展示し見学してもらうことにより、郷土への理解を深める機会を提供することになると考え、中富・柳瀬・山口民俗資料館の来館者数を指標とした。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		2,693千円	4,308千円
							1,384人	1,404人	1,500人	その他職員割合		1.12人	1.10人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費	7,239千円	9,621千円
562 土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査事業										教育総務部文化財保護課		文化財保護担当参事 古田 晃一	
目的	市内6箇所の土地区画整理事業地内の埋蔵文化財を保護することを目的に実施する。									開始	H29	R6	R7
										予算現額		15,574千円	11,092千円
内容	①確認調査を実施する。②遺構が発見され、開発等により破壊される可能性がある場合には発掘調査を実施する。									決算額(R7見込)		6,760千円	5,615千円
										正規職員数		0.56人	0.51人
指標	確認調査(試掘)面積と記録保存のための発掘調査面積 各土地区画整理組合(組合が認可されていない箇所は土地区画整理組合設立準備会)と合意した確認調査(試掘)、及び記録保存のための発掘調査面積						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		4,571千円	4,308千円
							28,705㎡	11,585㎡	69,883㎡	その他職員割合		8.40人	1.50人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費	11,331千円	9,923千円
562 歴史的建造物整備活用事業										教育総務部文化財保護課		文化財保護担当参事 古田 晃一	
目的	寿町に所在する国登録有形文化財「秋田家住宅」を整備し活用することによって、「所沢のまちば」の歴史・文化を伝え、「ふるさと所沢」を愛する心を育てる。あわせて、様々な活動の展開を通じて日常的に市民が交流する空間の創出や、所沢駅周辺から西所沢エリアや航空公園エリアなどへの回遊拠点のひとつとして地域の商業や観光の活性化にも寄与することを目指す。									開始	R3	R6	R7
										予算現額		8,328千円	45,098千円
内容	文化財としての歴史的・文化的な価値を活かし、地域の賑わいの拠点となるように整備を実施するため、令和5年3月に策定した「所沢市歴史的建造物整備活用基本方針」において示した活用方針を踏まえ、「所沢市歴史的建築物の保存及び活用に関する条例」を制定するとともに、基本設計、実施設計を行い、令和9年度から4か年をかけて整備工事を実施する。									決算額(R7見込)		7,190千円	44,281千円
										正規職員数		0.60人	0.88人
指標	歴史文化や郷土を大切にしたいと思う人の割合歴史文化の継承につながる文化財公開活用事業の効果を示す指標。 数値は、文化財公開活用事業の参加者に対し実施したアンケートの設問のうち「所沢市の歴史文化や郷土を大切にしたいと思ったか」に対し、「とても思った」と回答した人の割合。令和10年度までに80.0%以上をめざすもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		4,897千円	7,433千円
							64.0%	69.0%	80.0%	その他職員割合		0.20人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費	12,087千円	51,714千円
562 国登録有形文化財「旭橋」電灯復元事業										教育総務部文化財保護課		文化財保護担当参事 古田 晃一	
目的	「航空発祥の地 所沢」の歴史を多くの市民や本市を訪れた方にも体感してもらえるよう、東川と飛行機新道に架かる国登録有形文化財「旭橋」の電灯復元を行う。									開始	R6	R6	R7
										予算現額		12,740千円	3,500千円
内容	「旭橋」は、昭和5年(1930年)に、旧所沢飛行場へ通じる飛行機新道にそれまでの土橋から架け替えられた鉄筋コンクリート造単桁橋で、親柱上にあった電灯は失われていた。令和3年度から進めてきた資料調査の結果、施工当時の図面などが発見できたため、それらを資料として電灯の復元及び設置を行う。									決算額(R7見込)		12,430千円	3,472千円
										正規職員数		0.30人	0.19人
指標	国登録有形文化財「旭橋」への関心・理解度(HPの年間アクセス数) 文化財を身近に感じ、後世へ護り伝えていく意識を持つ市民等を増やすことを目的にしているため、市民等の関心・理解度を指標とする。						R6現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		2,449千円	1,605千円
							-	6,569回	-	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅴ:事業終了		決算額+人件費	14,879千円	5,077千円

563 三ヶ島葎子資料室運営事業										教育総務部文化財保護課				文化財保護担当参事 古田 晃一	
目的	郷土出身の歌人「三ヶ島葎子」の短歌の世界を広く伝え、市民が先人への理解を深めるとともに、「ふるさと所沢」を愛する心を育てることを目的に実施する。									開始	H6	R6	R7		
										予算現額		267千円	248千円		
内容	①講演会等の開催 ②三ヶ島葎子資料室だより「われもこう」の発行 ③市民ボランティアによる展示解説会等を実施する。									決算額(R7見込)		207千円	150千円		
										正規職員数		0.75人	0.65人		
指標	三ヶ島葎子資料室講演会等の事後アンケートで、「所沢市の歴史、ゆかりの人物等について、とても知りたいと思った」と回答した人の割合を指標とした。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	6,122千円	5,491千円			
							76%	89%	90%	その他職員割合	0.05人	0.05人			
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費	6,329千円	5,641千円		
563 ふるさと研究活動事業										教育総務部文化財保護課				文化財保護担当参事 古田 晃一	
目的	こどもから大人まで幅広い世代の市民の「ふるさと所沢」を愛する心を育むことを目的に実施する。									開始	H7	R6	R7		
										予算現額		14,124千円	14,891千円		
内容	所沢市の歴史、文化や自然等の郷土に関する資料や情報を収集・保存・調査・研究を進め、常設展示や企画展示・講座・体験学習会などを通じて研究成果を紹介し、「ふるさと所沢」の魅力を発信することで、幅広い世代の市民の学びのきっかけづくりを行う。									決算額(R7見込)		12,293千円	14,115千円		
										正規職員数		0.96人	1.11人		
指標	ふるさと所沢について学びたいと思う人の割合所沢に関する学びにつながる、ふるさと研究事業の効果を示す指標。 数値は、ふるさと研究事業の参加者に対し実施したアンケートの設問のうち「ふるさと所沢(所沢市の歴史文化、自然、ゆかりの人物等)について、学びたい(知りたい)と思いましたか」に対し、「とても思った」と回答した人の割合。令和10年度までに80.0%以上をめざすもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	7,836千円	9,376千円			
							60.0%	73.0%	80.0%	その他職員割合	2.15人	2.45人			
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費	20,129千円	23,491千円		
563 郷土資料等収蔵施設整備事業										教育総務部文化財保護課				文化財保護担当参事 古田 晃一	
目的	所沢市が所蔵する郷土資料等を良好な環境で保存活用することを目的に実施する。									開始	R6	R6	R7		
										予算現額		2,038千円	8,283千円		
内容	資料管理をデジタル化し、中核市移行に伴う施設再整備も踏まえ未整理資料の整理や分散保存されている資料の再整理を行うとともに、郷土資料等収蔵施設の整備を検討する。									決算額(R7見込)		1,761千円	6,439千円		
										正規職員数		0.55人	0.65人		
指標	郷土資料管理システム登録資料件数 収蔵施設の整備を進めるためには、所蔵資料の再整理及び総量等の把握が必要であるため、郷土資料管理システムへの登録資料件数を指標とした。						R6現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	4,489千円	5,491千円			
							64,154件	64,204件	75,000件	その他職員割合	0.71人	1.10人			
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅰ:事業規模拡大		決算額+人件費	6,250千円	11,930千円		